

永国寺

永国寺は、幽霊談、絵に描いたような美しい池、有名な薩西南戦争などで有名です。曹洞宗曹洞禅のお寺で、1408 年に建造されました。

永国寺の宝物としては、ねじ曲がった手に流れるような衣をまとった幽霊のような女性が、アシの草を背景に描かれている掛け軸が有名です。この幽霊は、本殿裏の池に表れて、寺の住職に助けを求めたと言われています。伝説によると、その幽霊は地元の権力者の愛人で、その妻によって絶望に追いやり、川に身を投げました。しかし、来世に生まれ変わることができず、復讐に燃えた幽霊の姿でさ迷うようになりました。住職は、かつて美しかった女性に今の姿を見せて、来世に生まれ変わることができるよう、この掛け軸を描いたと言われています。本殿に展示されている掛け軸は複製です。

寺の池は本殿からアクセス可能で、正院の縁側に座って外の景色を楽しむことができます。池には、藤、アジサイ、桜、松、カエデなど、池を取り囲む草花の移り変わる景色が投影されます。

本殿には、西南戦争時の埋蔵品の一部が展示されています。中には、大砲の砲弾や西郷隆盛（1828-1877 年）が描いた掛け軸などもあります。明治天皇（1868-1912 年）率いる新政府が立ち上げられてから 9 年後の 1877 年、西郷隆盛は不満を抱いていた侍たちを率いて、新天皇政府に対して反乱を起こしました。薩摩藩と天皇側は、人吉を含む九州で内戦となり、隆盛は熊

本城を奪うことができず、人吉・球磨へと撤退しました。隆盛の軍は、永国寺を本部と定め、33 日間粘ったのちに、政府軍により追い返されました。